

歳入 132億8300万円

地方交付税 (21.5%)
28億5940万円
 一定の行政サービスの水準を維持するために国から交付されるお金

※構成比は端数処理の関係で、集計値と一致しない場合があります。

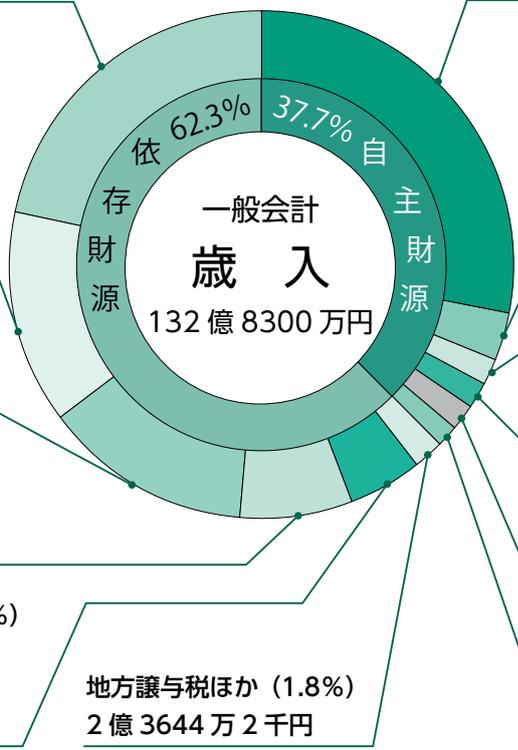
町税 (28.1%)
37億3664万5千円
 町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、都市計画税

町債 (13.5%)
17億9690万円
 建設事業などに対して借りるお金

国庫支出金 (13.4%)
17億7991万5千円
 国からの補助金など

県支出金 (7.1%)
9億4770万5千円
 県からの補助金など

地方消費税交付金 (4.9%)
6億5200万円
 地方消費税のうち町に交付されるお金



繰越金 (3.0%)
4億円
 前年度からの繰越金

諸収入 (1.8%)
2億3410万5千円

繰入金 (1.7%)
2億3035万3千円
 基金の取り崩し

使用料及び手数料 (1.6%)
2億1802万6千円

寄附金ほか (1.4%)
1億9150万9千円

地方譲与税ほか (1.8%)
2億3644万2千円

令和2年度

予算

町の令和2年度予算が、3月に開かれた町議会第1回定例会で決まりました。

予算の編成に当たっては、必要性、緊急性を十分に精査し、生活に豊かさや潤いをもたらすさまざまな事業や施策を盛り込みました。

図 企画財政課 ☎ 34-2072

一般会計
 予算額は132億8300万円で、前年度比で5億3500万円の増となりました。

まず歳出について、土木費が、約5億4200万円の増で最も大きく、雨水調整池整備などの内水対策、老朽化した橋梁の長寿命化に関する事業費の増が主な要因です。総務費では、ふるさと寄附の増額を見込んだ積立金の増額などから約1億2500万円の増、民生費では健康ポイント事業の拡充や障害福祉の給付の増などから約1億2100万円の増となります。教育費は、中学校給食施設の整備の完了などにより、約3億5100万円の減になりました。

下水道事業会計
 公共下水道事業では、整備面積約0.26㌥、工事延長約200㌥を、特定環境保全公共下水道事業では整備面積約0.5㌥、工事延長約400㌥を予定しています。整備済みの下水道施設も計画的に管理しており、今年度は改築・修繕工事延長約170㌥を予定しています。

水道事業会計
 水道事業では、安定した事業継続のため、磯城郡での水道事業広域化に向け引き続き取り組みます。また、広域化基本方針に基づき配水管路の基盤強化を図っており、今年度は延長約1010㌥の石綿セメント管の更新工事を行います。

特別会計
 特別会計は、特定の事業を行うために一般会計と区別して経理するものです。予算額は次ページ「会計別予算額」とおりです。

次に歳入について、最も大きな割合を占める町民の皆さんからの町税は、新築の増加により固定資産税は増収するものの、町民税が減収するとの見込みにより、前年に比べ約3800万円の減となります。また、大型事業の実施に伴い町債が約1億5900万円の増となります。

歳出 132億8300万円

性質別歳出

以下の金額は、右表の歳出について、経費の経済的な性質に着目して分類したものです。

扶助費 (17.2%)
22億8865万4千円
高齢者、障がい者、児童への援助など

人件費 (16.6%)
22億932万5千円
職員の給与、議員報酬など

物件費 (15.4%)
20億3955万円
委託料、光熱水費、事務用品など消費的な支出

普通建設事業費 (15.3%)
20億3298万4千円
道路や公園の建設など

補助費など (15.1%)
20億1206万3千円
一部事務組合への負担金や各種団体補助など

議会費 (1.0%)
1億3776万1千円
議会の運営

農林水産業費 (1.7%)
2億2417万2千円
農業振興、生産基盤整備など

消防費 (4.3%)
5億7394万3千円
消防、防災など

衛生費 (9.5%)
12億6501万8千円
健康づくり、ごみ・し尿処理など

公債費 (10.0%)
13億3174万3千円
町債の返済など

商工費 (0.6%)
7986万7千円
商工業、観光の振興など

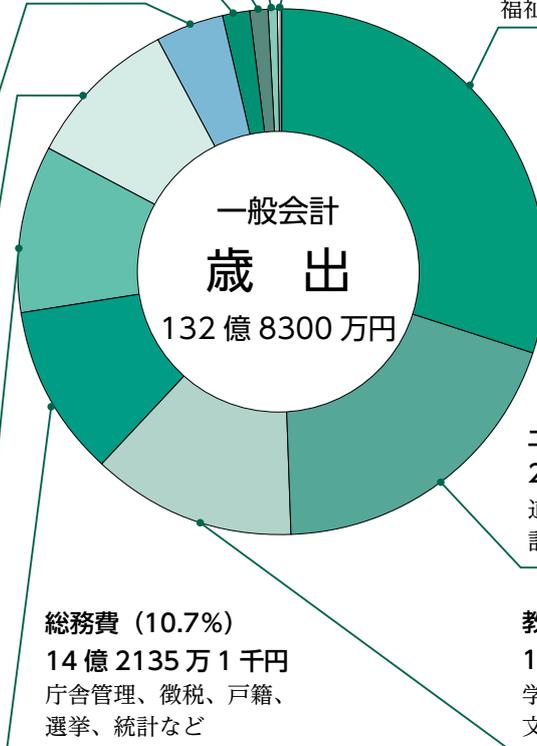
予備費 (0.1%)
1000万円

民生費 (30.2%)
40億1550万7千円
高齢者、障がい者、児童の福祉の増進、人権啓発など

総務費 (10.7%)
14億2135万1千円
庁舎管理、徴税、戸籍、選挙、統計など

土木費 (19.2%)
25億5444万5千円
道路・河川整備、都市計画、住宅など

教育費 (12.6%)
16億6919万3千円
学校教育、生涯教育、文化・スポーツ振興など



※構成比は端数処理の関係で、集計値と一致しない場合があります。

公債費 (10.0%)
13億3174万3千円
町債の返済など

繰出金 (8.5%)
11億3442万5千円
他会計への支出

維持補修費など (1.8%)
2億3425万6千円

●歳出合計 132億8300万円

※上記の表とは、歳出の分類方法が違うのみであるため、合計は変わりません。

会計別予算額

(▲はマイナスを表す)

会計	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率	
一般会計	132億8300万円	127億4800万円	5億3500万円	4.2%	
特別会計	国民健康保険	33億3143万6千円	33億4324万2千円	▲1180万6千円	▲0.4%
	後期高齢者医療	5億3932万7千円	5億1023万4千円	2909万3千円	5.7%
	介護保険	30億6193万5千円	30億3182万5千円	3011万円	1.0%
	磯城郡介護認定審査会共同設置	1410万6千円	1367万4千円	43万2千円	3.2%
水道事業会計	収益的支出	8億9688万6千円	9億2万9千円	▲314万3千円	▲0.3%
	資本的支出	2億8868万2千円	3億6780万5千円	▲7912万3千円	▲21.5%
下水道事業会計	収益的支出	10億6202万9千円	10億6977万8千円	▲774万9千円	▲0.7%
	資本的支出	9億1820万8千円	9億4150万円	▲2329万2千円	▲2.5%
各会計予算総額	233億9560万9千円	229億2608万7千円	4億6952万2千円	2.0%	

令和2年度の主な事業

1

子育ての願いをかなえる まちづくり

●小・中学校トイレ洋式化改修事業…3800万円

児童・生徒が快適にトイレを使用できるよう、小・中学校の和式トイレを洋式トイレに改修します。

●放課後子ども教室の開催…568万8千円

従来からの放課後子ども教室に加え、今年度から、新たに学習支援教室を開催することにより子どもの基礎学力の向上、学習習慣の確立を図ります。

●民間スイミングスクール活用事業…90万5千円

学校プールの老朽化や 児童・園児の安全確保のため、東幼稚園園児・東小学校児童を対象に、民間スイミングスクールを活用して水泳授業モデル事業として実施します。

●小学校費合計…1億9294万5千円

●中学校費合計…8909万5千円

●幼稚園費合計…4億1323万円



●^{ギガ}GIGAスクール構想導入事業（令和元年度補正予算）

…2億1578万4千円

教育ICT環境の実現に向け、高速大容量の校内通信ネットワークを構築するほか、

小・中学校の児童・生徒にパソコンを1人1台配置するため、計画的に購入を進めます。

●北幼稚園耐震補強等事業…8250万円

園児の安全確保のため、北幼稚園園舎の耐震補強等工事を行います。これにより、今年度ですべての幼稚園の耐震化が完了します。

2

健康で安心な暮らしを 支えるまちづくり

●ヘルスケア

プロジェクト事業

…5611万3千円

従来の健康ポイント事業を、産官学連携の



もとICT化や利用者の範囲を拡大するとともに、健康ポイントプログラム、運動教室プログラムなどの事業により、全世代活躍のまちの実現を目指します。

●地域支援事業（高齢者施策）…2億410万6千円

高齢者が要介護・要支援になることの予防とともに、要介護状態となった場合でも可能な限り地域で自立した日常生活を送れるよう支援します。

●後期高齢者人間ドック・脳ドック助成事業…72万4千円

後期高齢者の被保険者が人間ドック・脳ドックを受診した場合、受診費用の一部を助成します。

●歯周病検診（個別検診）…47万3千円

良好な口腔環境を維持し、歯の健康寿命を延ばすことを目的に、従来の集団検診に加え、40歳、50歳到達者への個別検診を実施します。

●体育施設管理事業…8305万6千円

中央体育館の屋外トイレや正面玄関のスロープの改修を行います。また、会議室をトレーニングルームに改修し、災害時には避難所として活用できるよう整備します。

●図書館利用促進事業

…200万円

普段とは違うにぎやかな「図書館わいわいタイム」や、蔵書点検期間の短縮、DVDの貸し出しなどにより更なる利用を促進します。また、代表作「少年アシベ」で知られる奈良県出身の漫画家・森下裕美さんの展示会などを実施します。



3

潤いや喜びを与える学びと スポーツのまちづくり



●社会体育振興事業…1787万8千円

各種大会、教室を開催するほか、東京2020オリンピック・パラリンピックで本町がホストタウンとなるグアテマラ共和国との事後交流事業を行います。

●生涯学習事業…1660万6千円

公民館学習や高齢者クラブ、文化祭の開催、弥生の里ホール自主公演などを行います。

4 安全で快適な暮らしを支えるまちづくり

●一般下水路事業…10億3859万3千円

町内の浸水被害地域の解消改善に向け雨水調整池の整備を行うほか、河川などの水位をリアルタイムで観測し注意喚起のメールを自動配信するプッシュ型の水位計を設置します。

●道路新設改良事業…3億9872万4千円

国道24号や主要県道などの広域道路ネットワークに連携した機能的な道路の整備を行います。

●道路橋梁建設事業

令和2年度…1億5205万4千円

令和3～4年度…1億7600万円

老朽化対策として、橋梁の点検、補修設計、工事を行います。



●田原本駅南地区市街地再開発補助事業…8629万1千円

組合施工により実施する田原本駅南地区市街地再開発事業について、補助金を交付します。

●交通安全対策事業…1000万円

カーブミラーやガードレール、区画線などの新設や補修を行います。

●生活安全対策推進事業…935万円

交通安全や防犯対策の啓発を行うとともに、児童の安全確保のため、ICTを活用して登下校の情報を保護者へ通知する児童見守りサービスを、田原本小学校1年生を対象にモデル事業として実施します。

●農業基盤対策事業…1億2530万6千円

農道、水路、井堰などの農業基盤施設の強化を行います。また、土地改良事業に係る補助金を自治会に交付します。

●農業の振興

…4244万9千円

新規就農者への支援や、生産性の向上と効率化を目的とした農業機械の購入や設備整備への支援、特定農業振興ゾーンに指定された2地区での高収益作物の導入をはじめ、農業の振興を推進します。



5 賑わいと活力あふれるまちづくり



●町観光協会補助金…3291万9千円

現在の観光を取り巻く状況を鑑み、地域ブランディングを進めていくために観光協会組織の拡充を図ります。

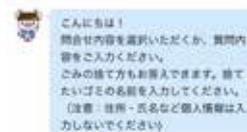
●公共施設整備基金の設置…1000万1千円

公共施設の老朽化に伴う建て替えや大規模な改修に備え、新たに基金を設置し、積み立てを行っていきます。

●AIチャットボット（自動回答システム）の運用

…105万6千円

スマートフォンなどのLINEアプリから入力された皆さんからの簡単な問い合わせに自動回答するAIチャットボットシステムを昨年10月に導入しており、引き続き運用を行います。



◀ LINEアプリで読み取り、お友達に追加すると利用できます

6 住民とともに実現するまちづくり

●ふるさと応援寄附金の推進…5081万円

本町への寄附の傾向を分析したうえで返礼品の拡充を進め、自主財源の確保及び本町のPRや地域事業者の販路拡大など、地域産業の活性化を図ります。

